

平成17年度提案事業経過報告資料(市民活動課聞き取り資料)

No	事業名	提案者 担当課	検討結果報 告内容	検討結果報告会後の経過	実施状況	今後の課題[参考:協働事業振り返りシート]
協定を締結し事業を行っているもの						
1	市役所関連施設の忘れ物傘の 再利用(リユース)事業	二条通り商店街振興組合 エコ倶楽部 契約管財課 環境総務課 産業振興課	協働事業と して推進した い	協議:全5回(H17.11~H18.1) 実施打ち合せ:1回(H18.2)	* 締結日:平成18年1月25日 * 事業期間:協定締結日から平成18年3月 31日(年度ごとに3回まで更新可能) 3月31日より傘の貸し出し開始 ・傘の設置店舗数:31店 ・リユース傘合計60本:市役所(28)、市民寄 附(20)、二条通商店街独自(12)	行政 本庁舎以外の施設における忘れ物傘の提供 市民 ・本庁舎以外で傘の提供可能な施設を探す ・市民から傘の寄付を集る仕組み作り
2	高齢者の体力作り支援事業	社会福祉法人敬愛会敬愛 の園 高齢者福祉課	協働事業と して推進した い	打ち合せ2回(H17.8~)	* 締結日:平成17年10月5日 * 事業期間:平成17年10月5日~18年3 月31日 第1回体力づくり教室開催 10月5日~12月28日 週1回 参加者7名 第2回体力づくり教室開催中 1月11日~3月29日 週2回 参加者7名	市民 修了者に対して、「継続性」をもたせるための対応 行政 ・運動や活動的な生活を継続すること。 ・制度の対象とならない高齢者の介護予防につながるプログラム が少ない。
3	防犯マニュアル作成事業	防犯マニュアル作成チーム	-	防犯交流会(H17.9) 防犯マニュアル作成会議:全6回(H17. 11~H18.3) 協力:神奈川県くらし安全指導員、教育総 務部指導室	* 締結日:平成17年12月22日 * 事業期間:平成17年12月22日~19年3 月31日 チームから教育長へ防犯マニュアル220 0部を配付依頼(H18.3)	市民 事件発生の現場調査と子ども・先生との対話 行政 ・18年度までの継続事業 ・17年度の防犯マニュアルは、18年度小学校新入学生に対して 配付
4	道路環境美化ボランティアの里 親制度(アダプト・プログラム)	つきみ野まちづくり委員会 たのしい会・大和秋香会 東京電力(株)相模原支社大 和営業センター NTT東日本神奈川県央営 業支店	-	個別調整	* 合意書締結日:平成17年10月25日 公所中央林間線~東急田園都市線(H1 7.10~H18.3 年間5回 6人/回) 満天宮1号~国道467号(H17.12~H 18.3 年間5回 10~23人/回) 南大和相模原線深見西46号の一部(H1 7.11~H18.3 年間5回 5人/回)	市民 ・清草取りをおこなった。今後参加人数が増えるか。 ・より多くの人の活動への参加 行政 ・協働事業のPR不足のため、事業を知らない市民等が多い。
5	“ふくしの手 全員集合”	NPO法人ワークスコレティブ 想 パパポラやまと 社会福祉法人敬愛会	-	打ち合せ会:2回(H17.8~9) 調整協議:6回(H17.10~H18.3)	* 締結日:平成17年10月1日 * 事業期間:協定締結日から平成18年3月 31日(年度ごとに3回まで更新可能) 「ふくしの手 人材育成講習会」実施:3日 (H18.2~3) 「地域福祉フォーラムやまと 2006」への 参画	市民 ・チャンスをもう一度も二度も分かち合うことで行動に移せるので はないか。 ・人材育成講習会の継続性や主旨が各事業所任せになっていて よいのか検討が必要。 行政 ・人材育成講習会について、今年度の取り組みを参考にして、参 加者の集まりやすい企画の検討を行う。 ・事業を通じて、さらにネットワーク(ふくしの手)を広げて行きたい と思います。 市社協との活動内容の違いを明白にしていけないと継続性が失 われる可能性がある。 ・「人材発掘・人材育成 Q&A」策定

平成17年度提案事業経過報告資料(市民活動課聞き取り資料)

No	事業名	提案者 担当課	検討結果報告 内容	検討結果報告会後の経過	検討・実施状況	その他
協定を締結せず、行政との協働関係を築き、独自の活動を行っているもの等						
6	資源ごみの出し方変更に関する 市民説明会協働事業開催	環境総務課	-	市民説明会資料作成等作業グループ: 全5回(H17.12~H18.1)	クリーンやまと2006作成	-
7	市民へのより良いスポーツ環境 の提供	NPO法人 リアライズ スポーツ課	総合型地域 スポーツクラ ブの創設に ついて検討 継続	具体的な協議はない。	-	行政:団体の持っている総合型地域スポーツクラブの創設に関するノウハウは活かしたい。
8	出張教室からひろがる温暖化を 考える会	五十嵐 典生 環境総務課	情報提供及 び相談への 適宜対応	情報提供	環境立市フェアへ出展(H17.11) つきみ野学習センターイベント参加 ・クイズを通じた電力についての知識普及 (ソーラーおもちゃなども活用)	・今後も継続的な情報提供をしていく。
9	つきみ野けやき並木再生に向け て	つきみ野けやき並木を考 える有志の会 土木管理課 土木総務課	協働事業へ の検討継続	つきみ野けやき並木道検討プロジェクト 会議:全5回(H17.7~H18.1) パブリックコメント実施(H18.3~)	同プロジェクトの検討に基づき、試行剪定 に一部着手開始。	市民 ・つきみ野けやき道に関して、行政が独自の対応をしたという認識。提案者が考えていた協働の形とは異なる。 行政 ・試行剪定の経過を検証していく。
10	つま自然の森 緑育事業 - 緑 を育て、緑で育つ -	リーフパイ 水と緑課	協働事業へ の検討継続	協議(H17.9~H18.3) ・月に1回集まって、子どもを集める方法や 森のあり方について検討	リーフパイの活動は継続的に実施 森の市境の柵が改修された。 ぬかるんだ散策路にチップが敷かれた。 掲示板が1ヵ所増設された。 市有地ならびに定方寺さんのヒノキ林が枝 打ちされて林床が明るくなった。	・市民団体(2)・行政の3者で話し合いを継続。お互いに直接顔を 合わせて話をするのは良い。 ・18年度のワークショップは、順調に船出をした。
11	カラオケとふれあいの場「ミニディ サロン」	ニコニコ会 高齢者福祉課 障害福祉課	協働事業へ の検討継続	協議:3回(H17.11~12) 内容:事業概要・計画の具体化、市担当 課との調整	・平成18年度は、法律改正など状況がどうな るか分からない状況では、協働事業とすること は難しい。 ・提案者が現在行っている事業を継続して実 施。この事業の中で、市が協力できる場所は 協力し、実績をつくる。	・個人利用による活用から団体の申し込みによる活用へ
12	空き店舗活用による子どもの居 場所作り	NPO法人地域家族しん ちゃんハウス 産業振興課 児童育成課	協働事業へ の検討継続	情報提供(窓口での対応を含め、資料送 付を2回)	・継続的な協議を行っていく。	・担当窓口を絞り込んで、協議を継続していく。広げすぎず、ひとつ ずつ、できることをやっていく。
13	新 体 操 教 室	大和市体操協会 スポーツ課	総合型地域 スポーツクラ ブの創設に ついて検討 継続	具体的な協議はない。	-	-

平成17年度提案事業経過報告資料(市民活動課聞き取り資料)

14	やまと子ども文芸大賞 (まほろば子ども文芸大賞を改称)	「やまと子ども文芸大賞実行委員会」 (まほろば子ども文芸大賞実行委員会を改称) 大和市教育局 指導室	学校へのPR など後援により連携可能	事務手続き等諸調整	「やまと子ども文芸大賞」と改称して、 作文・スピーチ発表大会を平成18年3月5日 (日)に実施した。 参加者:200名超 作文応募数:202点 後援:大和市、大和市教育局 協賛:市内外の企業・団体	・準備期間が短かったため、学校などに対する応募の働きかけが不十分であった。もっと前広に開催日を決めてPRする必要がある。 ・開催時期の検討。 ・市内の青少年に係わる団体との連携が必要。 ・次回開催に向けての、市民への継続的な認知度アップ対策。(3月5日発表大会当日に参加者の協力得て実施したアンケートを参考に、制作したDVDなどを使用して)
----	--------------------------------	--	-----------------------	-----------	--	---